



風早地域センターだより

令和8年(2026年)

8月号

風早地域センター

〒739-2403 東広島市安芸津町風早 1214-1 電話・Fax(0846-45-0023)

令和8年 8月20日発行

風早の浦 シリーズ4 風早の浦で詠まれた短歌を詠み味わってみよう!

天平8年(736年)、奈良の都で聖武天皇の命を受けて大阪の難波津の港から遣新羅使一行が出発。見送りに来た妻や家族は別れを惜しみました。当時の船旅は困難を極め、命を失ってしまうことも多くあり、難波津での別れは永遠の別れになるかも知れないという切実な思いがありました。その新羅の旅に難波津の港で船に乗るときに見送りに来た妻から夫に贈った歌が残されています。

君が行く海辺の宿に霧立たば吾が立ち歎く息と知りませ

その歌に夫が応えるように風早の浦で万葉の歌2首が詠まれました。

わが故に妹歎くらし風早のうらの沖べに霧たなびけり

沖つ風いたく吹きせば吾妹子が歎の霧に飽かましものを

いずれの歌も霧をテーマにした妻と夫の1300年前に詠まれた、すばらしい相聞歌です。その歌に因んで、現在、安芸津中学校の3年生は、毎年相聞歌にチャレンジして万葉短歌大会に出詠しています。風早の浦で詠まれた歌は、代表の阿部継麻呂の歌であるという確証はありませんが、継麻呂は生還することはできませんでした。風早の浦で詠まれた歌が万葉集に載せられていたというだけでなく、歌の内容がこの上なくすばらしい相聞歌であることが歴史的に高く評価されてきたといえます。

松並木整備作業 7月12日(日)

23人のたくさんの皆さんの協力で、予定通り松並木整備作業が行われました。草取り、松の枝の剪定等年に2回の作業ですが松並木を保存するための大切な営みです。目の前には三津湾の海が開け安芸津というより東広島市の最高の景観を提供してくれる白砂青松の場所ではないでしょうか。



松並木について

平成12年に整備が始まり今年で26年になります。松の木の植樹から道路の整備を進め現在に至っています。毎年、風早自治協議会の環境部会の皆様の主導により年に2回整備作業を行っています。ウォーキングコースになっているこの道を2年目には、「市民協働のまちづくり活動応援補助金」の交付を受けて、業者の協力を得ながら道路の補修工事等行い環境整備に当たっています。今では、風早地区というより安芸津町の憩いの場であるといえます。

11月の火とグルメの祭典では万葉火がきれいに見え、住吉祭りの東広島花火大会の花火の見学にも適した場所でもあります。

唯一、東広島市の海のある安芸津町、風早には海があるというだけでなく、海の価値を高めてくれる素晴らしい環境ではないでしょうか。これらは風早自治協議会の大切な活動であり、コミュニケーション作りの基盤になる取り組みでもあります。

9月の予定

高齢者料理教室 9月2日(火)

総務企画部会 9月2日(火)

回覧発送 9月24日(木)

センターの活動紹介

こども食堂「ハーモニー」料理体験 7月31日(金)

子どもたちが楽しみにしている夏休みの一つの思い出として子ども食堂主催の料理体験教室があります。

今年は「オリジナルやきそばランチ」です。野菜の切り方、具材、やきそばの味も好みで、ソース・塩・レモンなど、各自でいろいろ考えてトライしていききました。やさしいサラダ、フルーツヨーグルト、ゼリーを添えて豪華で美味しい焼きそばが完成しました。24名の小学生、夏休みのよき思い出の一ページになったようです。昨年からの活動で、今回が2回目の取り組みになります。総勢39人の皆さんの協力で実施することができました。



ペットボトル訪問 6月20日(土)

満80歳以上の人だけで暮らしている高齢者世帯の皆さんに、民生児童委員、見守りサポーター、福祉委員の皆さんが水入りペットボトルなどを持って訪ね、熱中症予防の啓発と併せて安否確認を行いました。

訪問前には、東広島市安芸津支所の保健師、林裕美さまより「熱中症対策は食事から」という演題で講演をいただきました。



敬老事業実行委員会 8月7日(金)

本年度の敬老事業

2回の実行委員会を開催し、77歳以上の敬老者に昨年度同様の記念品をお届けすることになりました。記念品は商工会の2000円の商品券とジュース、ティッシュです。民生児童委員さん、自治会長さん、福祉委員さん、見守りサポーターさん達の協力で、10月2日(金)に各地域のお届け物の整理をし、10月3日(土)・4日(日)の2日間で敬老者の自宅にお届けする予定です。5日(月)以降になる場合もありますのでご協力お願いいたします。

